

長びくコロナ禍

まもれいのちを!



大阪府に要請(5月31日)



大阪市に要請(5月31日)

吉村府知事と 松井大阪市長に緊急要請

大阪自治労連は5月31日、緊急事態宣言が再延長されるもとで、吉村大阪府知事と松井大阪市長に対して、「新型コロナウイルス感染拡大の抜本的対策強化」を求める緊急申し入れをしました。重症病床使用率は依然として高く、入院率が10%台と全国のごよよりも低い状況が続いています。こうした中、医療現場や保健所などでは長時間労働が続き、自治体職員そのものの安全が脅かされています。

緊急申し入れは、府民のいのちを守ることを最優先に求め、感染リスク回避やワクチン接種など、自治体労働者の安全確保を強く求めるものです。

りんくう総合医療センター 賃金未払い請求訴訟

勝利和解!



勝利和解の記者会見(5月20日堺市内)

5月20日、大阪地裁堺支部において、りんくう総合医療センターによる賃金未払い(割増賃金)請求訴訟が、3年に及ぶたかひの結果、勝利和解を勝ち取ることができました。155人の原告団を支え、先頭に立ってたたかっていたりんくう総合医療センター労働組合の常玄委員長は「お金の問題ではなく、献身的に働く医療労働者の実態を見ていただき、改善させたかった」と思いを語りました。(8面に関連記事)

賃金未払い請求訴訟で勝利和解を勝ち取った、りんくう総合医療センター労働組合の常玄委員長と安永書記長に現在の心境を聞きました。

りんくう総合医療センター労働組合

執行委員長 じょうげん 常玄 大輔さん 書記長 安永 桂介さん



常玄さん

「勝利和解」で終わらない
これからが大事です

常玄 訴訟は和解解決しましたが、まだ終わったという感じはしません。裁判後に理事長と院長と会いました。穏やかな感じで話ができました。しかし、すべてが良くなるわけではないし、問題を解決しながら前に進んでいきたいですね。

安永 私も終わったという感じはありません。理事長や院長が、本当に働いていて楽しい職場にしたいという気持ちなら、私たちの要求にどのように対応してくれるのか、これからが大事です。

この賃金カットは
おかしい 市財政の
ツケを職員に回すな

常玄 始まりは賃金カットです。最初に聞いた時は、そういうものだと思いました。しかし、私が認めれば、「おかしい!」と思っている職員も賃金カットされてしまうことになる。労働の対価が削られる。さぼっているわけではないのに賃金カットされる。それが許せなかったんです。労基署も思うようには動かず、病院を訴えたくはなかったけど、組合としてやるしかなかった。



安永さん

安永 僕も賃金カットのこと

を聞いて驚きました。財政の仕組みを知って、市財政のツケが我々の賃金カットだと分かったときに、これはおかしいと思いました。できたら裁判でなく、労基署の是正勧告で終わらせたかった。コロナ前から病院人件費削減の話があったなかでした。泉佐野市と同じような道を歩んでほしくないと思いました。

労働組合の役割と 労働者代表としての責任

常玄 たたかひの中で「組合に入りた」と加入した人が多くあり、うれしかったです。つらかったのは「36協定の(特別条項)」についてです。病院は慢性的に忙しいし、必要な時は働かなければならない。だから、「特別条項」は設けられないと思いました。しかし、まわりの職員からは「超勤ができない」と言われました。懸命に説明しました

が理解されなくて、本当につらかったです。残業代が生活給になっているんですね。安永 僕も「特別条項」のことではつらかったです。そもそも長時間労働を防ぐための36協定なので、組合員や職員の健康を考えてのことでしたが、なかなか理解を得るは大変でした。労働者代表はいろいろ考えなければならぬと思います。

困っている人を助けたい 組合が見えるように

常玄 労働環境を良くしたい。仲良く楽しくしていきたい。でも、その中で病院当局にも言わなければならぬこともあります。安永 裁判は終わりましたが、職場の仲間はその後を見ていると思います。どれだけ当局が応えるのか。一つでも要求を実現させたいですね。

一つでも要求を実現させていきたい